



「建物は多くの人の手で作られる事を見てほしい」と語った高見委員



工事概要を説明する。左の掲示板上には見取図が掲示されている。



ボイラー棟の現場。骨組が概ね完成しており、工事は6割方完了している。



この棟は、原材料の保管倉庫になる。屋根はあるが、進捗率はまだ半分。



原材料を保管するため、廃棄物が外へ流れ出ない工夫が施される。



メインとなる工場棟の現場。これから本格的な工事が行われる



普段見れない職人さんの作業風景。生徒は食い入る様に見つめていた。



事務棟現場の中を行く。壁の骨格ともいえるアルミの柱がずらり。



排水タンク周辺の現場。化学薬品を扱う工場には必須の設備だ。



中をのぞくと、土で茶色く濁った雨水が溜まっていた。



広大な現場には掘削した残土の置場があり、ショベルカーが稼働していた。



生徒代表は、「3年間の学校生活に活かしたい」謝辞と抱負を語った。